

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ(第249回)

日時 平成29年4月27日(木) 午後1時半～3時半

場所 参議院議員会館 1階 102会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「102会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、最近の交通情勢について想う

挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)

2、平成28年における交通事故の発生状況

3、平成29年春の全国交通安全運動の実施について

4、交通事故統計(3月末及び4月26日まで)

解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報告

去る3月28日開催の第248回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長から、「最近の交通情勢について想う」と題して開会挨拶がありました。交通事故死者数の近年の減少傾向は、今までの地道な努力が実を結んだものだといえる。さらなる事故減少には、これからもこうした努力を続けて行かなければならない。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐(警視)より、「平成28年中の交通事故の発生状況」について解説がありました。平成28年の交通事故発生件数は約49万9千件で、10

年前比44%の減少。死亡事故も39%減少している。負傷者別にみると、20歳代が最も多い。事故類型でみると、若年層は運転操作の未熟さ、高齢者は運転操作の不適が原因で事故を起こしていることが分かる。飲酒運転事故件数が下げ止まり傾向にあることから、一部自治体ではアルコール依存症対策と共同で飲酒運転の危険性について啓発を行っている。

次に、「平成29年春の全国交通安全運動の実施」について解説がありました。春の全国交通安全運動は、4月6日～15日の10日間にわたって実施される。運動の基本は子供と高齢者の交通事故防止にしているため、今回初めて子供等の交通事故について統計をまとめた。15歳以下の死者数は、424人中48%が歩行中。最も多いのは7歳である。中学生になると死傷者数に占める自転車乗用中の割合が圧倒的に高くなる。事故類型でみると、横断歩道以外の横断、横断歩道上が高い割合を示し、違反別にみると飛び出しが多いが、違反のないケースも半分近くある。中高生になると出会い頭事故が圧倒的に多くなる。また、男児が女児の倍事故に遭っているというデータもある。こうしたデータをもとに、小学生への対策としては、保護者や学校においては、保護者の目の届かない所でも歩行者として安全に通行できる基本的な心得を再確認するよう、ドライバーに対しても、通学路や学校付近では子供の飛び出しに十分注意して運転するよう呼びかけている。中高生への対策としては、自転車の正しい乗り方の啓発、特にながら運転をやめるよう、交差点内通行への注意、自転車の追い越し時の注意などを呼び掛けている。その他、高齢運転者対策としては、運転免許の自主返納支援、自動車運転者関係では運転中のスマートフォン使用の禁止の周知徹底を行う。

部会前日（3月27日）までの死者数は825人で、前年比66人の減少。3月中も現段階で26人の減少と、年間通して減少傾向は続いている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、有意義な会合となりました。

★ 資料代 会員500円、非会員2000円
次回、4月27日（木）の交通部会（参）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛FAX 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様のFAX _____ 電話 _____

テロ対策への警備から、非会員で参加希望の方は、必ず、
前日までに事務局へ御連絡下さい。

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp